

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	メリーランド 国分寺			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 11月 1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数)	37
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 12月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員は全員が関連資格（例：社会福祉士、保育士、強度行動障害支援者、児童指導員）を保有しています。そのため、活動場所や内容を問わず（室内外の様々な場面で）、ご利用者様のニーズに応じたきめ細やかで臨機応変な支援を提供出来ます。	活動内容は室内での創作・音楽活動といったプログラムに留まらず、公園での活動や施設見学などの積極的な外出を取り入れています。多様な体験を通じて、五感を刺激し、社会や自然に触れる機会を豊富に提供するよう努めています。	定期的なミーティングや研修を通じて、従業員の実践的な対応力とチームワークを組織的に強化しています。これにより、様々な状況で柔軟かつ適切な支援を提供できる体制を築いていきます。
2	活動スペースを目的別にコーナー分けすることで、周囲の刺激を気にせず活動に没頭できる環境と、静かにリラックスして過ごせる落ち着いた空間の両方を提供しています。	個別のニーズやペースに合わせて、活動内容や場所（コーナー）を随時調整することを配慮しています。ご利用者様が常に最適な環境で活動に取り組めるよう環境設定に柔軟性を持たせています。	個別のニーズや目標に対応するため、活動プログラムの種類と選択肢を増やしています。このため、すべてのご利用者様が個性を活かし、高いモチベーションで活動に取り組める機会を創出しています。
3	特別支援学校のご利用者だけでなく、特別支援学級、聴覚部門のご利用者様も在籍しております。幅広い仲間との貴重な交流機会に溢れています。	職員が定期的な研修を通じて知識と技術を習得し、事例検討を含むミーティングにより連携と対応力を強化しています。どのような状況にも最善を尽くせるよう、個々と組織の実践的な柔軟性の向上を継続的に図っています。	同法人内の他の放課後等デイサービスや生活介護事業所と密接に連携し、季節ごとのイベントを企画・実施します。その結果、年齢やサービスの垣根を越えた幅広い利用者間の交流機会を増やしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	男性ご利用者様が利用者の大半を占めている現状に対し、性別への配慮が必要な身体介助において、常勤を含む男性従業員の配置が不十分です。ご利用者様が常に安心して支援を受けられる体制が確立できていません。	法人全体の人員調整の必要性から、男性職員が配置されても他施設への異動や応援となるケースがあり、当事業所の安定した男性職員の確保と定着が課題となっています。	男性職員の採用活動を強化するとともに、男性職員が定着しやすい勤務環境の整備に努めます。
2			
3			